

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度第 6 回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業について（公開）

①提案状況の説明

②提案事業に関するヒアリング及び採点

③採択事業の決定

3 開催日時

平成 28 年 10 月 12 日（水） 午後 6 時 30 分から午後 7 時 25 分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：石黒太一、内山恵悟、内山松男、川上奈津子、川上久雄（副会長）
武田輝夫、西嶋明子、星野一巳（会長）、松縄節子、山岸 愛
山岸一之（欠席 1 人）

・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、小林主事

8 発言の内容

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【星野会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：武田委員に依頼

議題「(1) 地域活動支援事業について」の「①提案状況の説明」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・提案状況の説明

【星野会長】

「②提案事業に関するヒアリング及び採点」に移る。追加提案された1件の事業について委員の認識を深めるとともに、疑問点等を解消するため、提案者から事業概要と事業のポイントを説明いただく。その後、委員の皆さんによる質疑応答を行う。

時間配分については、事務局からの説明1分、提案者からの説明4分、質疑応答5分の合計10分で行う。

— 提案者入室 —

【星野会長】

- ・ヒアリングの方法について説明

事務局から提案の概要説明後、提案者に事業の説明を求める。

【野口係長】

- ・「諏-追1 芳澤謙吉翁顕彰資料作成事業」の概要について説明

【提案者】

- ・提案の事業内容について説明

【星野会長】

委員に質疑を求める。

【石黒委員】

作成部数が310部となっているが、今回の予算の範囲内での部数なのか。

【提案者】

そのとおりで、予算の中でできる分になった。310部作っても余ることはないと思うので、このようなかたちでお願いした。

【川上久雄委員】

提案書中に、「研究者及びアジア史に関心の高い人」とあるが、どんな人が来るのか。

【提案者】

この間、講師をしてもらった大学の先生や、早稲田大学で研究されている方などだ。芳澤謙吉を研究されている方は結構いらっしゃるので、訪ねて来られることがある。そういう方にとっては簡単な資料かもしれないが、少しでも役立てばよいと思う。

【武田委員】

来訪者の統計みたいなものはとっているのか。

【提案者】

そこまではしていない。たまたま今年、そういう方がお見えになったので、あったらよいと考えていた。今までの資料はあまりに簡単で、ほんの触りでしかなかった。今まで何年かに渡って大学の先生から来ていただいて講師をやっていた方や、芳澤さんの身内の方から来ていただいて色々な資料を出してもらった。それをまとめた物がなかったなので、折角あるうちに整理して本にしておいた方がよいという話を事業協力者の寺田先生としていた。

【星野会長】

諏訪区の中で誇れるものだと重々承知なのだが、諏訪区の中でも芳澤謙吉のことについて理解している方はまだ少ない。今回の冊子の作成は、非常に意義のあることだと思う。より多くの方から知識を持ってもらい、地域内外で発信してくれるとよいと思っている。今回は310部だが、各戸配布の有無と今後の展望について教えてほしい。

【提案者】

現在、各戸配布は考えていない。希望者へは配布するが、各戸配布してゴミに出されてしまうと勿体ない。興味のない人に配ってもあまり効果がないとも思う。今までのこういう資料は各戸に配布していたが、大切に保管しているかどうかは確認できない。ただ、今後の研修会などでチラシを配布しようと思っているので、その時に来ってもらう人には当然資料として配布したい。もし、各戸に配布した方がよい

という意見が皆さんからあれば、また考えていきたい。

地域への発信について、私も地域内でも濃淡があると思うのだが、地域外に出るとなおさら知らない人が多い。芳澤謙吉翁顕彰会の会長をさせてもらっている中で、高士区に行って、顕彰会ができた経緯や今までやってきた話をさせてもらった。すると分かってもらえる人もいた。また、明日、保倉地区公民館で午前9時から、同じような話をして欲しいということで芳澤謙吉翁を宣伝してこようと思っている。そういったときに提案した資料があると、説明したり持って帰ってもらったりできるので有効活用したいと思っている。さらに、県地域振興局でも芳澤謙吉翁のことを知らない人がいたので説明した。このように。機会があるごとに皆さんに話をして分かってもらうことは大切なのだと思った。

【星野会長】

他に質疑を求めたが、ないのでヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【星野会長】

「③採択事業の決定」に移る。ヒアリングの結果を踏まえて、各自で採点を開始していただく。皆さんが採点をすると同時進行で、事務局で集計作業を行う。採点が終了した方は、順次事務局に採点票を提出願う。全ての採点票は15分程度で終了するよう願う。採点が終了した委員は会議再開まで休憩していただいて結構だ。事務局の集計ができたら会議を再開する。

— 採点作業・集計 —

【星野会長】

会議を再開する。採点結果と協議方法について事務局に説明を求める。

【野口係長】

・採点結果一覧表により説明

【星野会長】

採択事業とすべきかと、採択金額について審議を行う。委員に意見等を求めたがないので、採択に相応しい提案であり、予算も上手に使い切ることができるかたちであるため、提案どおり採択としてよいか。

(「はい」の声)

満場一致で採択とする。今回の補助金は100パーセント有効活用ができたと思う。2次募集では、なかなか提案が出て来なくて、無駄になるかと懸念した。提案者から来年度提案予定のものがあると聞いたので、繰り上げて提出が可能かどうか相談して、出してもらった経緯がある。他に提案がなかったのが残念だが、来年度に向けて、皆さんからも協力して事業提案を促すようお願いしていただきたい。

今年度は全部で11件の事業が提案され、全て採択された。480万円を全て有効活用できたと思っている。未実施の事業もあるが、地域活動支援事業の補助金のおかげで、立派な事業が推進でき諏訪地区やそれぞれの団体の活動に大いに貢献していると感じている。

最初はハード事業が多かったが、最近ではソフト事業も充実してきていると思う。地域活動をいかに活性化させるかというのが、我々委員の一人ひとりの肩に掛かっていると言っても過言ではないと思うので、今後も諏訪地区の発展のために皆さんのお力添えをお願いします。

その他、事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・ 次回の会議日程について説明

— 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：11月16日（水）午後7時から 諏訪地区公民館
- ・ 市民と市長とのキャッチボールトーク：10月28日（金）午後6時30分から
- ・ 雄志中学校生徒との意見交換会：12月4日（日）午後1時から 津有地区公民館

【星野会長】

次回の会議では“キーパーソンからの情報提供”ということで、前協議会長の古川さんからお越しいただき、今までの自主審議の経過や思い等を話していただく。前回までの委員は同じ思いで再任していると思う。新たに委員になられた方は、色々な情報を受け入れていただき、委員全体のレベルアップ、同じ土俵に乗って今後の審議を進めていきたいと思う。

本日の議題は全て終了した。

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。